

沼津高架P Iプロジェクト報告会傍聴者アンケート

1 報告会概要

- (1) 日時 平成25年12月21日(土) 13:30~15:10
- (2) 場所 静岡県東部総合庁舎 別棟2階会議室
- (3) 傍聴者 33人(うちアンケート提出者17人)

2 アンケート結果

報告会についての意見・感想

- 4案から決めるのか、別の仮案が提案されるのか、解りませんでした。早く知事に決定を願っています。
- 最終的に、4案から1案に絞る過程が、これからも続くということになりそうですね。知事が1案に決定して、最終的に県議会が決めるのか、どのような決定方法になるのか疑問です。
- 1.「資料1」、「資料2」の報告に関しては、既知の事実なので、今までの経過・到達点の整理にはなっていました。(P I勉強会に参加しました。)
2.今日の報告会の最大のポイントは、「今後の進め方」にあり、今後は、市民同士、市民と行政間に禍根、しこりを残さない意思決定に至ることが至上命題だと思います。鉄道高架化推進、またはその反対の結論をとるにしても、これまでの情報(共有)量からでは、さらにミゾが深まり、行政不信が加速する懸念が残ります。私は、市長発議による住民投票で最終決定をし、将来に争いの火種を残さない道を模索すべきと思います。(政治的には、非常に困難であることは重々承知していますが。)
- 沼津市の鉄道高架化への市民の総意は、市長選、市議会選を通じて決着しており、P I自体が、本来、都市計画決定がなされる前にやるべきで、P Iは事業遅延になるだけで、町づくりにとってマイナスであると感じた。
- 情報提供の場を提供下さいまして有難うございました。4案の中からの決定の過程でも、市民の参加が計られますよう、お願い致します。
- このような会を開催していただきありがとうございました。P Iで築き上げた、事務局職員の人間関係(信頼関係)がよく分かりました。長い間ありがとうございました。
- 報告会を開催していただき、有難うございました。是非、次回も次々と開催して下さい。
- ○知事に手交後、JR貨物と折衝を重ねているようだが、その際、沼津市は同席しているか。
○今後のスケジュールによれば、沼津市は、今後P I委員会とりまとめ案に基づき、県と協議することになると思うが、沼津市当局者は、鉄道高架推進ということなら応ずるが、そうでなければ応じないと言っているようだが、どうなのか?(過去1年間のP Iプロジェクトは何だったのか)
○P Iプロジェクトについて、県・市との間の認識に大きな差が見られる。

○国は来年度 180 兆円もの国債を発行する予定とか。沼津市の財政全体は？

- 知事が今後の方向性として、防災力向上のための施設を含めた貨物駅を腹案として持つことに活路を見いだすのは自由だと思いますが、P I 委員会の議論の中では、例えば、そういう条件ならば受け入れ可能だという議論はされていないという事を、事務局に確認させていただきました。P I の議論に縛られる事はないと思いますが、そういう方向性も示されていないと思います。
- これまでのご努力に敬意を表すると共に、感謝申し上げます。P I は、複数案を列挙した結論であったがために、振り出しに戻ってしまったという感がある。事務レベルでの絞り込みには限度があると感じる。いつかの時点で、腹を固めなければならないにも関わらず、最終的には一つに絞り込めなくなることは明白だ!! 最高責任者である知事の決断が待たれる(責任放棄は許されない)。
- P I 後の早急な方向付けが大切。その際は、P I 委員会からの提言にもありとおり、関係機関(県・市・事業者)はもとより、市民参加の会の確保を願いたい。又、市民は報道に依らなければ情報(概略だけの報道)が入らないし、その機会損欠は大きい。よって、今日のような報告会による相互的な情報の共有化は、是非とも必要(県⇄市⇄事業者⇄県のサイクルを市民が囲むイメージ)。
- 県の関係者の努力に感謝します。良い方向に進めて戴いている様子がよく分かりました。少しですがほっとしています。今後も御苦勞を掛けますが、よろしく御願います。
- ○まずはご苦勞様でした。ここまで多様な意見・考えをまとめ上げたことに、市民として感謝申し上げます。
 - 出席者の中に女性が少ない。
 - 「沼津駅の高架」なのに、原地区に気を使っている様子(使いすぎ)。
 - 本日は、P I 委員会出席者の共通のテーブル上で、確認の場のような会議だった。
- ①沼津市の責任者が多数出席し、同じレベルで話を聞いた事は大きな一歩だと思う!
 - ②JR 貨物と実務者レベルとの間で話ができている事に、大きな期待をしたい。
 - ③郊外のららぽーとと市街地中心化は相反する事ではなく、広域の街づくりの考えで進めてもらいたい。沼津駅と三島駅の時間的一体化等の相乗効果を期待したい。
 - ④時間的スピードアップを計り、4案の Yes、No の結論を出すべきだ。
- JR 貨物からの提案「事例 貨物駅の見学」は、余り意味がないと思う。なぜかと言うと、新貨物駅用地の反対者の反対理由が分かっている事の表れだと思う。反対理由には、物理的理由よりも感情的な理由が「根っこ」にある事を理解すべきである。
- 今後共、報告会等を開いて下さい。又、高架推進を希望します。
- 2年に亘って、最大・最高のエネルギーを集中してP I に取り組んで来た。そして、4案に絞り込んだ。今後、事業主体が方向を決めたなら、分別をもって押し進めていく事を、全市民で共通の認識としたい、して欲しい。反対も賛成者も約束して欲しい。分別をもって対応する事。よって、県・市の事業方針が示されたなら、一丸となって進めること!!!